

(臨床研究に関する公開情報)

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で検体や情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、下記の【問い合わせ先】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等はお答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】

心不全患者における退院後エネルギー充足率と減塩指導・栄養状態の関連

【研究責任者】

国立病院機構 埼玉病院 管理栄養士 野口暉

【研究の背景・目的】

心不全患者さんには塩分制限が必要とされていますが、過度な塩分制限が食欲低下や体重減少などを引き起こす可能性があり、これらによるエネルギー不足は予後に影響を与えると報告されています。また、退院後の食欲低下は心不全患者における 1 年後の死亡率上昇と関連していることから、退院直後から在宅期にかけての栄養サポートが極めて重要とされています。

入院中は栄養士による食事調整で必要なエネルギーを充足していても、退院後は自己管理に依存するため充足率が低下する可能性にあります。一方で低下する要因や、実際にどの程度低下するのか明確な答えは出ていないのが現状です。

本研究では、退院後のエネルギー充足率の変化について実情を明らかにし、その要因を探ることを目的としています。

【研究の方法】

・対象となる患者さん

2025 年 8 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に埼玉病院の循環器内科に入院を要した心不全患者。

・研究期間：承認日～2028 年 3 月 31 日

・対象となるデータ

電子カルテや重症系部門システムに保存されているデータ（年齢、性別、血液などの臨床検体検査結果、画像/生理/病理検査結果、経過記録情報、栄養関連情報）です。

【研究組織】

この研究は当院のみで実施されます。

【試料・情報の管理】

この研究に関わって収集される試料・情報は、外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱います。収集した試料・情報は解析する前に氏名・住所・生年月日等の研究に不要な

情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。(このことを仮名化といいます)。試料・情報は研究用に仮名化され、個人を特定する情報との対応表は作成しません。そのため、個別に情報を削除したり、研究参加を後から取りやめたりすることはできません。ただし、今後新たな情報を追加収集することはありません。なお研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も氏名などの個人情報が明らかにならないようにした上で公表します。

【問い合わせ】

国立病院機構埼玉病院

栄養管理室：野口暉

電話：048-462-1101